

マルチハル船シンポジウム

次世代船舶としてのマルチハル船の役割を考える!!

複数の胴をもつ船舶は、古くからたくさんありましたが、今、再び注目を集めて、現代に甦ってきつつあります。カタマラン、トリマランそしてペンタマランなど様々な船が構想され、一部は実用化もされています。いったい、こうしたマルチハル船の特性はどのようなのか、どんな利用法があるのか、そしてその将来性はといった問題に、(社)日本船舶海洋工学会の中に設置された「マルチハル船のフィージビリティ検討委員会」(略称マルチハル研究会)が真っ向から取り組んだ3年間の成果を、琵琶湖に登場した新しいトリマラン船「めぐみ」の船上でご紹介します。マルチハルは、最近では高速船に多く採用されていますが、決して高速船だけに適した船型ではありません。ゆったりとくつろぐためのクルーズ船、大量の車を運ぶ自動車運搬船、そしてコンテナ輸送バージまで、意外な活用法もあることをご紹介します。講演会の後は、琵琶湖を眺めながらの船上懇親会も企画しておりますので、ぜひ奮ってご参加下さい。ただし、定員は100名までですので、お早めにお申込下さい。

開催日時 : 2009年3月25日(水) 12:30 に大津港にて乗船。(京浜大津駅から徒歩3分、JR大津駅からバス5分)
13:00-17:00 琵琶湖汽船のトリマラン型クルーズ船「めぐみ」船上
17:30-19:00 琵琶湖汽船の外輪船「ミシガン」船上で懇親会

参加費用 : シンポジウム(乗船料、資料費を含む) : 3000円(日本船舶海洋工学会会員)、5000円(会員以外)
懇親会 : 5000円

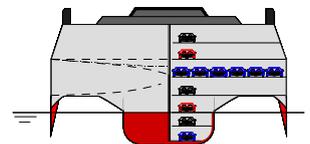
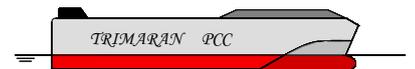
お申込み : 氏名、所属、連絡先を明記のうえ、懇親会への参加の有無も含めて E-mailもしくはFAXでお願いいたします。(先着100名様)
〒599-8531 堺市学園町1-1 大阪府立大学 海洋システム工学科
マルチハル研究会事務局 桃木 勉
Fax. 072-254-9914, Email : momoki@marine.osakafu-u.ac.jp



琵琶湖汽船の「めぐみ」

シンポジウムスケジュール : 13:00-17:00

- 世界のマルチハル船の現状 池田良穂(大阪府立大学)
- 日本生まれのトリマラン船:石田造船建設建造「オルカ」「まつかぜ」「第2せきぜん」
琵琶湖汽船運航「めぐみ」
- 期待の双胴高速船「ナッチャン Rera」の運航実績と撤退の謎 池田良穂
- 双胴船・トリマランなどマルチハル船の耐航性能徹底比較 片山徹・桃木勉
- アルミ製トリマラン型 RORO フェリーの開発 溝辺辰大
- トリマラン大型自動車運搬船の可能性 小浦拓也
- 提言(1): 高速マルチハル船の抵抗最小化について
—最小抵抗双胴船(MRTH)の開発— 丸尾 孟
- 提言(2): 最小抵抗双胴船(MRTH)の実用化への検討 塩田浩平
- 総合討論



ベンチグア・エクスプレス



ナッチャン World



第2せきぜん

■マルチハル船シンポジウム申込書 (FAX用)

氏名 : (どちらかに○:日本船舶海洋工学会会員・非会員)

会社名 :

住所 :

電話 :

E-mail :

懇親会に (出席・欠席)